

## Q. なぜ、トイレの組み立て訓練をするの？

大きな地震がくると 水が出ません！  
そこで一番、困るのは トイレ

トイレが  
使えないよ。



阪神・淡路大震災（平成7年）において、避難所では次のような事態が起きました。

- ◆家や学校など、地域にあるすべてのトイレが、断水で使えなくなった。
- ◆するところがなく、いたる所に便がてんこ盛りに放置された。
- ◆全避難所に仮設トイレが設置されたのは、震災から2週間後。
- ◆ところ狭しと避難所に人が集まるなか、人ごみをかきわけてトイレに立つが、大変な混雑に、だれもが寒い所で長い時間、並んで待つといった事態になった。
- ◆多くの高齢者は、混雑するトイレに対応するために、入口近くや廊下といった、寒くて人通りが多い場所にいたなければならない事態になった。
- ◆高齢者、障がい者にとってトイレは、その多くが和式で手すりがなかったり、段差があったり、狭かったり使いにくく、トイレを我慢する傾向が出てくる。その結果、ようやく手にした少ない飲食さえも控えるようになり、衰弱する人まで出た。
- ◆トイレの苦情がなくなったのは、75人にトイレ1基の割合になってから。

このように、老若男女を問わず、災害時のトイレ問題は切実です。

避難拠点となっている〇〇〇には、組み立て式の仮設トイレが3基あります。

今回は、みなさんと協力して、この仮設トイレを組み立ててみます。

避難所のトイレだけでは数が足りないことも考えられます。ご自分の家でも、避難する必要がない場合、同じように断水によってトイレが使えなくなります。下水が大丈夫なら、風呂の水などで流すこともできますが、家でもあらかじめ、簡易トイレの備蓄をしておくなど、ご家族とトイレ対策について、話し合っておきましょう。

## ● 水が出ないと、こんなことも困ります

消 火

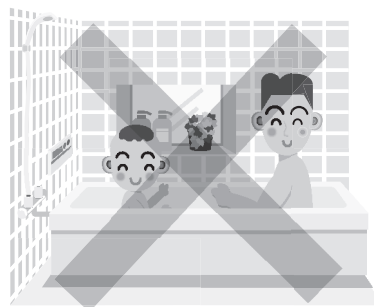


壊れなかった防火水槽も、放水ですぐ空になってしまうことも。

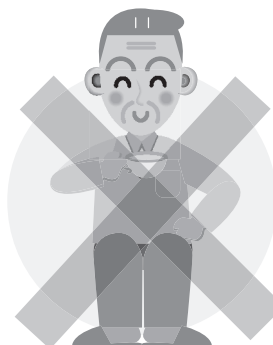
料理や洗いもの



風 呂



飲み水



想像してみよう！  
もし、大きな地震が  
ここにきたら？

ねりま減災どっとこむ

※「減災」とは、災害による被害を少なくすることをいいます。